

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-110	14-066	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Effect of drinking on all-cause mortality in women compared with men: a meta-analysis. 飲酒と総死亡との関連の性差		
執筆者		
Wang C, Xue H, Wang Q, Hao Y, Li D, Gu D, Huang J.		
掲載誌		
J Womens Health (Larchmt). 2014 May;23(5):373-81. doi: 10.1089/jwh.2013.4414.		
キーワード		PMID
飲酒、性差、メタアナリシス、総死亡		24611563
要 旨		
<p>目的： 飲酒と総死亡との関連の性差について文献メタアナリシスにより明らかにする。</p> <p>方法： 飲酒者の非飲酒者に対する総死亡相対危険及びその95%信頼区間が記載された24コホート研究(計約240万名)のデータを使用しメタアナリシスを実施。各推定値をプールし、固定または変量(異質性存在時のみ)効果モデルを使用した。女性と男性の相対危険の比を算出した。</p> <p>結果： 女性は飲酒の総死亡に対する相対危険が男性より有意に高値であった(1.07: 95%信頼区間 1.02-1.12)。飲酒量での層別解析の結果、飲酒量が多いほどこの傾向が顕著であった。飲酒量と総死亡とのJカーブの関連は男女ともに認められた。</p> <p>結論： 本研究により、特に女性の多量飲酒者は飲酒量を抑えることで死亡リスクを減らすことが出来る可能性が示唆された。</p>		